平成23年10月12日

関係大学長 殿
関係学部等の長 殿
関係機関等の長 殿

宇都宮大学農学部長
茅野 甚治郎

教員の公募（期間延長）について(依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

宇都宮大学農学部生物生産科学科では、下記の要領で教員を公募しておりましたが、要領を一部変更し、応募期間を2011年11月7日（月）まで延長することになりました。つきましては、誠に恐縮ですが、関係各位にお知らせ下さるとともに、適任者の応募、推薦について宜しくお取りはからい下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学ホームページの教員公募(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/kyouin-koubo/index.html>)にも掲載しております。

謹白

記

(1) 公募条件

- 1) 専門分野と人員：栄養制御学分野（生物生産科学科動物生産学講座）の助教1名
- 2) 応募資格：次の要件を満たす人
 - ① 博士の学位(外国において授与された方はこれに相当する学位を含む)を有し、研究および教育上の情熱と優れた能力を有すること。

(2) 女性の応募について

本学は男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、女性の積極的な応募を歓迎いたします。また、本学では、子育てと仕事の両立支援策を推進しています。峰キャンパス内には「宇都宮大学まなびの森保育園」<http://www.manabinomorihokuen.org/>があります。

(3) 提出書類

- 1) 個人調査（本学部所定様式1を使用し、署名捺印すること）
- 2) 研究業績調査（本学部所定様式2を使用し、原著論文、著書、その他に分けて記載すること）

- 3) 教育実績調書（本学部所定様式3を使用し、記載のこと）※
 - 4) 社会貢献実績調書（本学部所定様式4を使用し、記載のこと）
 - 5) 研究業績調書に記載されたもののうち主要な10編の別刷りまたはコピー、各1部
 - 6) これまでの研究内容（A4版用紙に2000字程度。書式自由）
 - 7) 今後の教育に対する抱負（A4版用紙に1000字程度。書式自由）
 - 8) 今後の研究に対する抱負（A4版用紙に1000字程度。書式自由）
 - 9) 社会貢献に対する抱負（A4版用紙に1000字程度。書式自由）
 - 10) 問い合わせの可能な推薦人1名による推薦状。
- ※ 3) について該当しない場合は「なし」と記載して下さい。

なお、様式1)～4)は下記に請求してください。

請求先：農学部総務係 辰巳太郎

e-mail：tatsumi@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

Tel：028-649-5399, Fax：028-649-5401

- (4) 選考方法：書類審査および面接
※面接を行う場合、旅費等は応募者の自己負担となりますのでご了承下さい。
- (5) 応募期限：平成23年11月7日(月) (必着)
- (6) 応募書類提出先
〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学農学部 生物生産科学科
動物生産学講座 選考委員長 菅原邦生 宛
(封筒の表に、「動物生産学助教応募」と朱書きし、書留郵便にて送って下さい)
- (7) 採用予定日 平成24年2月1日
- (8) 応募時に提出される個人情報の取り扱いについて
 - 1) 応募時に提出された書類の個人情報については、採否の検討および決定に限って使用いたします。
 - 2) 選考の結果、不採用になった応募者の書類は速やかに返却します。
- (9) 問い合わせ先：宇都宮大学農学部生物生産科学科動物生産学講座 菅原邦生
e-mail：sugawara@cc.utsunomiya-u.ac.jp Tel：028-649-5441

[付記]

1. 生物生産科学科は植物生産学講座、動物生産学講座、応用生物学講座と応用生物化学講座の4講座から構成されています。
2. 動物生産学講座の研究室構成と教員は生物生産科学科動物生産学講座のホームページ(<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/gakka/01-02.html>)を参照して下さい。当該教育

研究分野は家畜の栄養現象を主に化学的な実験的手法で解明することを目指しています。なお、公募分野に直接関係する教員は、菅原邦生教授です。

3. 今回公募する教員の担当予定授業科目は、栄養機能調節学Ⅱ(分担)、畜産化学実験(分担)のほか、全学の教養科目としての基盤教育科目、卒業論文などです。
4. 採用後は、資格審査を経て修士課程の指導にも携わって戴くことになります。
5. 本学部は、東京農工大学および茨城大学とともに後期のみの博士課程大学院(東京農工大学大学院連合農学研究科)を構成しており、採用後は連合農学研究科の指導教員資格審査を経て博士課程の教育研究の指導にも携わって戴くことになります。